

長野県宿泊税活用計画(仮称) の策定について



令和7年6月17日
長野県観光スポーツ部



長野県PRキャラクター「アルクマ」
©長野県アルクマ

長野県宿泊税活用計画(仮称)の策定について

宿泊税によって長野県が中長期的に取り組む観光の目指す姿や目標、宿泊税活用の使途を明確化した
「長野県宿泊税活用計画」(仮称)を策定

記載項目(イメージ)		記載内容の方向性(案)
計画期間		5年間
長野県観光が目指す姿・コンセプト		「暮らす人も訪れる人も楽しめる世界水準の山岳高原観光地づくり」 ⇒ p.3参照
目標値(KPI)		①観光消費額増加、②旅行者の満足度向上、③地域への観光の貢献度向上 ⇒ p.4参照
主な使途	県が取り組む事業	①観光コンテンツの充実、②観光客の受入環境整備、③観光振興体制の充実を基本的な取組の方向性とする
	市町村への交付金	地域の独自性を発揮しつつ、県と市町村が施策の方向性を共有して観光振興に取り組むため、「市町村交付金制度」を創設し、①一般交付金、②重点交付金によって交付する
役割分担		長野県、長野県観光機構、市町村、DMO等の役割分担について整理して記載
効果検証方法		毎年度行う使途の検証方法・体制について検討し記載
計画の見直し		計画期間終了前の見直しについて検討し記載

長野県宿泊税活用計画(仮称)の目指す姿(案)

- 観光振興財源検討部会や県民説明会等、これまでの議論を踏まえて、目指す姿や施策推進のコンセプトを以下のとおり整理。
- 宿泊税の活用によって、持続可能な観光地域づくりを推進するとともに、長野県のポテンシャルを最大限活かし、旅行者の満足度向上やリピーターの確保につなげていく、というプラスの循環を創出したい。

目指す姿

暮らす人も訪れる人も楽しめる世界水準の山岳高原観光地づくり

<視点>

- ・ 国内外の旅行者から選ばれる観光地を目指し、長野県の観光への満足度を高める
- ・ 地域の持続可能な発展を維持し、住む人が誇れる観光地の実現につなげる

目指す姿の実現に向けて、以下の取組の方向性に基づき
観光振興施策を推進

取組の方向性

- 宿泊税導入の効果が実感いただけるよう、施策や地域を重点化して実施
- 地域の独自性を発揮しつつ、県と市町村が一体となり、施策の方向性を共有した上で
広域的な視点で観光振興に取り組む

長野県宿泊税活用計画(仮称) 目標・KPI(案)

- 目指す姿や取組の方向性を踏まえ、「旅行者視点」「観光地視点」の両面から達成度を測る目標・KPIを設定
- 計画全体のKPIだけでなく、宿泊税を活用して取り組む施策にも成果指標を設定し、効果測定を行う

目指す姿 暮らす人も訪れる人も楽しめる世界水準の山岳高原観光地づくり

<KPIのイメージ>

項目		内容	目標・指標のイメージ
全体KPI		① 地域における観光消費額の増加	・観光消費額（県算出） 現状：R5 8,549億円 ⇒ 目標：R9 9,000億円
		② 旅行者の満足度の向上	・総合的な満足度【R5:88.2%、12位】 ・分野ごとの満足度
		③ 地域への観光の貢献度向上	※調査方法は検討中
個別KPI	宿泊税活用施策のうち 重点的な取組に 目標・成果指標の設定を検討 ※取組内容は資料3を参照	・自然公園等の利用環境整備 ・移動自体をアクティビティとして楽しめる環境の整備 ・「信州観光MaaS」の実装、観光DX推進 ・観光における移動保証の実現 ・宿泊施設集積地における観光まちづくりの推進 ・観光地経営組織(DMO)の機能強化等 など	※ 検討中

参考：県で把握している統計・データ

調査名	実施主体	データ内容	備考
観光地点パラメータ調査	長野県	○来訪回数 ○平均宿泊数 ○1人当たり平均訪問地点数 等	・観光地点におけるヒアリングにより実施
来訪者満足度調査	長野県観光機構	○旅行で使った1人あたりの旅行 ○長野県への来訪状況 ○長野県への旅行の期待に対する上回り ○長野県への旅行の総合満足度 ○長野県への再来訪意向 ○旅行で訪問した場所 等	・インターネット調査により実施 ・コロナ禍により訪日外国人旅行者への調査はR2以降中断(国内旅行者のみ実施)
じゃらん観光国内宿泊旅行調査	じゃらんリサーチセンター	○宿泊旅行者の性・年代別構成 ○旅行後の来訪者の満足度、推奨度(NPS) ・総合的な満足度【R5:88.2%、12位】 ・魅力のある宿泊施設があった【R5:63.1%、16位】 ・子どもが楽しめるスポット【R5:28.4%、38位】 ・若者が楽しめるスポット【R5:29.8%、34位】 ・ご当地ならではの体験・アクティビティ【R5:50.6%、10位】 ・現地へのアクセス【R5:43.8%、39位】 ・現地で良い観光情報を入手できた【R5:31.7%、34位】 ○宿泊旅行の目的 等	・インターネット調査により実施 ※調査手法・指標の変更等により前年度との比較ができない可能性あり
JTBF旅行実態調査	日本交通公社	○最も楽しみにしていたこと【R6:1位 自然景観(22.0%)】 ○旅行先での交通手段 ○旅行先での現地活動【R6:1位 自然や景勝地の訪問(53.3%)】 ○満足度・再来訪意向 等	・ウェブ調査により実施 (引用時には「引用掲載確認書」の提出が必要)
宿泊旅行統計調査	観光庁	○延べ宿泊者数(国内・訪日外国人) ○客室稼働率 等	
訪日外客統計	JNTO	○都道府県別訪問率 ○国籍別都道府県別延べ宿泊者数 等	

※上記の他、以下のようなデータ収集・分析も実施

- **ながのファンコミュニティ**（実施主体：長野県観光機構）
会員向けに長野県の観光情報を発信し、会員向けへのアンケートや発信した観光情報への反応を収集し、リアルかつタイムリーな声を観光プロモーションに反映

宿泊税活用計画(仮称)策定までのスケジュール

